

広島県商工労働局産業振興施策公募型プロポーザル選定委員会
（カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務）
議事要旨

広島県商工労働局産業振興施策公募型プロポーザル選定委員会

カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務公募型プロポーザルについて次のとおり審査した。

1 審査基準に係る審査

（１） 会議の概要

開催日時	令和7年1月22日（水）
開催方法	持ち回り
出席委員名	委員長 空田 賢治（広島県商工労働局部長（新産業創出）） 委員 山本 照久（公益財団法人ひろしま産業振興機構 常務理事） 出射 太（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（ものづくり・新産業支援）） 増廣 浩二（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（環境エネルギー産業集積促進）） 河村 敏成（広島県環境県民局環境政策課長）
議題	カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務公募型プロポーザルの審査基準の審査
担当部署	広島県商工労働局イノベーション推進チームものづくり支援グループ

（２） 議事要旨

令和7年4月10日（木）に開催する「カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務公募型プロポーザル審査会」において、提案者からの提案内容の審査を行う上での基準について協議を実施。

審査の結果、委員からの意見を踏まえ、字句の修正及び評価ポイントが分かりやすい形になるようフォーマットを修正した（当該審査基準は公募開始時（令和7年2月17日（月））に公表）。

2 プロポーザル審査会

(1) 会議の概要

開催日時	令和7年4月10日（木） 9：50～14：50
開催場所	県庁本館 R 階 R1 会議室及び WEB（ZOOM）
開催方法	WEB（ZOOM）
出席委員名	委員長 出射 太（広島県商工労働局自動車・新産業課長） 委員 岡崎 俊実（公益財団法人ひろしま産業振興機構 常務理事） 晶 正和（広島県商工労働局環境・エネルギー産業課長） 和田 貴博（広島県商工労働局経営革新課担当課長（機動的経済支援）） 河村 敏成（広島県環境県民局環境政策課長）
応募事業者 （順不同）	・デロイトトーマツリスクアドバイザー合同会社 ・株式会社電通西日本広島支社、株式会社電通総研広島営業部、株式会社電通、株式会社中国新聞社 ・株式会社日本総合研究所 ・東京海上日動火災保険株式会社、アークエルテクノロジーズ株式会社 ・株式会社パソナ パソナ・広島、株式会社パソナサステナビリティ
議題	カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務公募型プロポーザルの審査
担当部署	広島県商工労働局自動車・新産業課 自動車・新産業支援グループ

(2) 議事要旨

○ 審査基準及び結果等

本県はカーボンニュートラルへ向けたものづくり産業に係る支援に取り組んでおり、令和7年度は「ワークショップ・勉強会などコミュニティ形成に向けた取組」「ポータルサイト掲載のコンテンツ作成」「地域独自の取組を活性化させる仕組み作り」「令和8年度以降の運営計画等の策定」を一体的に行う企業支援を実施するという観点から、応募事業者から提出された事業提案書やプレゼンテーションなどの提案内容について、以下の基準（提案者の優位性、業務の実施体制、具体的な企画内容、全体設計）を評価項目とし審査を行った。その審査結果は次表のとおりであり、最優秀提案者として株式会社電通西日本広島支社、株式会社電通総研広島製造営業部、株式会社電通、株式会社中国新聞社を選定した。

各提案者に対する
意見

【デロイトトーマツリスクアドバイザー合同会社】

- ・WS／実証のテーマについてはダイナミックで面白い内容であるものの、実現性の部分で不安が残る。多様な企業や事業者の参画が得られるかどうか判断できない面があり、想定どおりの成果が得られるかどうか疑問がある。
- ・本事業提案は、広島県の背景、事業の目的あるべき姿を正確に把握しており、そこから提案された各テーマはよく練られている。ロジカルで理解しやすい。チャレンジングであり、実現性が若干心配なところはあるがこれまでの経験や実施体制でカバーできると感じた。
- ・テーマ設置や目標は意欲的であり、サポート体制も十分に評価できる。一方で目論見どおりに実行するためには県内企業の理解や巻き込みが不可欠であり、その部分の提案が若干不足していると感じる。
- ・類似事業の豊富な受託実績を基に、的確かつ非常に意欲的な内容となっており、大いに評価できる。
- ・S L Lの推進、J クレジットの活用等においても地域特性を踏まえた取組の推進が期待できる一方で、実現に向けてのハードルをクリアするための更なる取組が必要になると考えられる。

【株式会社電通西日本広島支社、株式会社電通総研広島営業部、株式会社電通、株式会社中国新聞社】

- ・企業課題の分析をもとに対応方針を定めた上で、適切なWS・実証などのテーマが設定されている。また、多様なステークホルダーの参画も期待ができ、内容にも具体性がある。全体的にレベルの高い提案内容であると評価する。
- ・これまでの実績を活かしたテーマ選定となっており、強味がある。現状課題を把握しており、それを補い進化させる提案になっている。
- ・テーマ設置は県内企業のニーズを踏まえて設定されており、バランスのとれた提案内容となっている。県内企業の巻き込み方法や今後の展開についても十分に考慮されており、評価できる。
- ・これまでの受託実績を踏まえた的確な方向性の下、具体的な提案内容であり、かつ高い水準を目指す内容となっており、大変評価できる。
- ・過年度の経緯を踏まえたニーズに応えたWSテーマの設定となっており、プラットフォームを通じてCN、ブランディングの推進等が期待できる。マニュアル、GB等の作成による横展開が期待できる。”

【株式会社日本総合研究所】

- ・地域の金融機関等を巻き込んだ実施体制となっている点やバランスのとれたWSテーマである点を評価するものの、実証及び地域独自の活性化策となっているカーボンクレジット創出については実効性にやや疑義がある。
- ・地銀の積極的な関与協力があれば強みとなる。次年度以降の計画で、目新しいものが提案されている（CNプレミアムゾーン制度）。ただしワークショップのテーマが限定的なものになっている感がある。（省エネ再エネに絞っている等）
- ・クレジット創出や地域での脱炭素の取組に係る提案は評価できる一方で、県内企業の巻き込みや県内企業の課題解決への提案が弱く感じる。
- ・テーマ選定も的確であり、専門性に基づく着実な事業遂行が期待でき、とても評価できる。
- ・カーボンオフセットやブランディング等に係るテーマ選定について評価できるが、実現に向けた支援の充実が必要と考えられる。

【東京海上日動火災保険株式会社、アークエルテクノロジー株式会社】

- ・他社の提案に比べ、全般的に特色や独自性が感じられず、具体性にも欠ける提案であると評価せざるを得ない。
- ・全体的に、求められている仕様に対して、検討不足かあるいは検討能力不足である。県の求めているものに対して正面から答えていない。

- ・ C F P 算定のテーマ設定は理解できるか、県内企業が参画できる具体的なアプローチ方法に関する提案内容が乏しい。
- ・ もう少し取組の具体性や実現の確からしさの説明がほしかったと感じたものの、全体としては評価できる。
- ・ ワーキング等のテーマ選定にあたっては、CFP を含めより事業者のニーズの深掘りが必要と考えられる。

【株式会社パソナ パソナ・広島、株式会社パソナサステナビリティ】

- ・ テーマ設定に特色があり、実施体制も適切で期待ができる提案内容であるものの、成果を生み出していくプロセス等にやや具体性に欠ける面があり、実効性や実現可能性に不安がある。
- ・ 全体的に、求められている仕様に対して、整合不足のところが多い。
- ・ テーマ設定が環境分野全般となっており、参加企業のニーズやレベル感にばらつきが生じる懸念がある。モデル化創出実証についても網羅的な内容となっており、実現性に課題がある。
- ・ 取組内容に関し具体性が若干乏しいと感じたものの、提案内容は的確な方向性を踏まえたものとなっており評価できる。
- ・ 幅広のテーマとなっているため、対象事業者の絞り込みや支援内容等についての具体化に更なる工夫が必要であると考えられる。

公募型プロポーザル結果一覧

業務名 (又は調達物品の名称、規格及び数量)		カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務	
業務場所 (又は納入場所)		広島県内	
履行期間 (又は納入期限)		契約締結日から令和8年3月31日まで	
公募型 プロポーザル 結果	商号又は名称	総合値	選定結果
	01 デロイトトーマツリスクアドバイザー合同会社	378	
	02 株式会社電通西日本広島支社、株式会社電通総研広島製造営業部、株式会社電通、株式会社中国新聞社	406	◎
	03 株式会社日本総合研究所	343	
	04 東京海上日動火災保険株式会社、アークエルテクノロジーズ株式会社	264	
	05 株式会社パソナ パソナ・広島、株式会社パソナサステナビリティ	303	

評価基準に基づく評価項目別の総合値

評 価 項 目		配点	参加者別評価値				
			01	02	03	04	05
1	【Ⅰ 提案者の優位性】 ・類似業務に関する実績等 ・本業務に携わる者に関する実績等	40	36	35	31	22	26
2	【Ⅱ 業務の実施体制】 ・業務の実施体制及びスケジュール	20	15	16	15	11	13
3	【Ⅲ 具体的な企画内容】 ワークショップ・勉強会などコミュニティ形成に向けた取組・モデル化創出実証 ・テーマ設定、運営方法、成果水準 等	200	157	168	136	108	114
4	【Ⅲ 具体的な企画内容】 ポータルサイト掲載のコンテンツ作成 ・コンテンツ内容 ・情報の収集・蓄積	60	40	49	38	31	42
5	【Ⅲ 具体的な企画内容】 地域独自の取組を活性化させる仕組み作り ・テーマ設定 ・仕組み作りの進め方	100	72	79	67	48	63
6	【Ⅲ 具体的な企画内容】 令和８年度以降の運営計画等の策定 ・検討手法	60	44	45	43	32	32
7	【Ⅳ 全体設計】 ・予算及び経費内訳	20	14	14	13	12	13
総合値（委員全員の評価値の合計）		500	378	406	343	264	303